

通信陸上大会開催にあたり、暑熱対策・落雷対策を講じた、 タイムテーブル変更のお知らせ

平素より、当競技専門部の諸事業に対し多大なるご理解・ご協力を賜りまして、深く感謝申し上げます。また、都総合体育大会開催にあたりましては、皆さまのご理解ご協力を賜りまして無事に終了することができました。感謝申し上げます。

さて、標記に示しました通り、2週間後に行われる通信陸上大会を迎えるにあたり、各種対策の一貫、更に、参加選手・指導者、審判員、観戦者の皆さんの健康・安全面を考慮し、別紙の様な競技方法、競技順で実施する運びと致します。各校・各チームエントリー前に確認頂き、エントリーするようにお願い申し上げます。

○競技方法

- ① 1日の競技間で、休憩時間を数回設けます。
- ② 各競技ラウンド方法は以下の通り実施します。

〔トラック種目〕

○短距離種目（100m）

- ・ 準決勝を廃止し、予選→A B C 決勝とする。
- ※ 予選の結果より、上位24名を決勝に拾う。
 - A 決勝－予選記録1位～8位
 - B 決勝－予選記録9位～16位
 - C 決勝－予選記録17位～24位

※ 関東大会の選考に絡む順位は、A 決勝のみとする。

○短距離・ハードル種目（200m、400m、ハードル）

- ・ 現行通り、予選→決勝（予選記録上位8名）とする。

○中長距離種目（800m、1500m、3000m）

- ・ タイムレース決勝とする。
- ※ エントリータイム順で番組編成をする。

○リレー種目（400m R）

- ・ 現行通り、予選→決勝（予選記録上位8チーム）とする。

〔フィールド種目〕

- 試技時間については、都総合体育大会同様で行う。

○走高跳、棒高跳、走幅跳、円盤投

- ・ 一発決勝とする。
- ※ 全員3本試技を行い、その結果から上位記録8名（トップ8）を選出し、その8名は更に3本の試技を行い順位を決定する。
- その際の順位決定には、各自合計6本の記録の上位記録とする。

○砲丸投

- ・ 現行通り、予選→決勝（予選通過記録突破者）とする。
- ※ 予選通過記録突破者が12名に満たない場合は、突破者以外で上位記録者より12名までの選手を拾う。
- ※ 決勝は、12名全員（予選通過突破者が12名以上の場合もある）が3本試技を行い、その結果から上位記録8名（トップ8）を選出し、その8名

は更に3本の試技を行い順位を決定する。
その際の順位決定には、決勝での各自合計6本の記録の上位記録とする。

○競技順

○別紙、簡易タイムテーブルを参照のこと。

※競技開始時間、その日の競技順を確認すること。

※最終エントリーがこれからなので、詳細タイムテーブルを示すことができません。
ご理解ください。

以上